



Nobu Okada

岡田 光信

株式会社アストロスケールホールディングス
創業者兼CEO

【会社所在地】〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-16-4

【事業紹介】宇宙機の安全航行の確保を目指し、次世代へ持続可能な軌道を継承する為、スペースデブリ(宇宙ゴミ)除去サービスの開発に取り組む世界初の民間企業です。



【PROFILE】

1973年生まれ
米国パデュー大学クラナート MBA修了
大蔵省(現財務省)主計局勤務後、マッキンゼー・アンド・カンパニーにて経営コンサルティングに従事。IT業界等で創業者や経営者として活躍。高校一年時に、毛利衛宇宙飛行士より「宇宙は君達の活躍するところ」という手書きのメッセージをもらう。以来、宇宙への想いを胸に創業に至った。

【創業年】2013年5月4日

英国王立航空協会フェロー(FRAeS)、国際宇宙連盟(IAF)委員、世界経済フォーラム(ダボス会議)宇宙評議会共同議長等を兼務。パデュー大学150周年祭典では、卒業生起業家として「Burton D. Morgan Entrepreneurship Award」を受賞。Forbes JAPAN選出「日本の起業家ランキング2019」第1位、2020年には歴代殿堂入りを果たす。他、世界経済フォーラム(ダボス会議)テクノロジーバイオニア賞2017、ファストカンパニー社「世界でもっともInnovativeな会社Top10」、グッドデザイン賞2016、APEC Global Innovator Award(2015)等受賞。過去、ハーバード・ビジネス・スクールの教材として二回選出されたことも。著書に「愚直に、考え抜く。」

【座右の銘】 言い訳せず、考え、実行する(実現)=(思考)×(実行)

「宇宙のロードサービス」を目指して

40代目前で中年の危機を経験。人生を振り返り、高校1年時に参加したNASAのスペースキャンプ宇宙飛行士訓練プログラムで、毛利衛宇宙飛行士から「宇宙は君達の活躍するところ」という手書きのメッセージを頂いたことを思い出しました。その後、各国で開催される宇宙の学会に参加し、気付いたスペースデブリ(宇宙ごみ)の問題。シュミレーションやリサーチだけでなく、アクションプランが必要だと思い創業に至りました。

会社の特徴

宇宙機の安全航行の確保を目指して ～持続可能な宇宙環境～

2013年の創業以来、軌道上で増加し続けるデブリの低減・除去策として、宇宙機が故障や運用終了を迎えた際の除去(EOL サービス)や、既存デブリ除去(ADR サービス)の技術開発を進めています。技術・ビジネスモデル・法規制という複数課題を同時に解決すべく、本社・R&D 拠点の日本をはじめ、シンガポール、英国、米国と4カ国100名超体制でグローバルに事業展開しています。

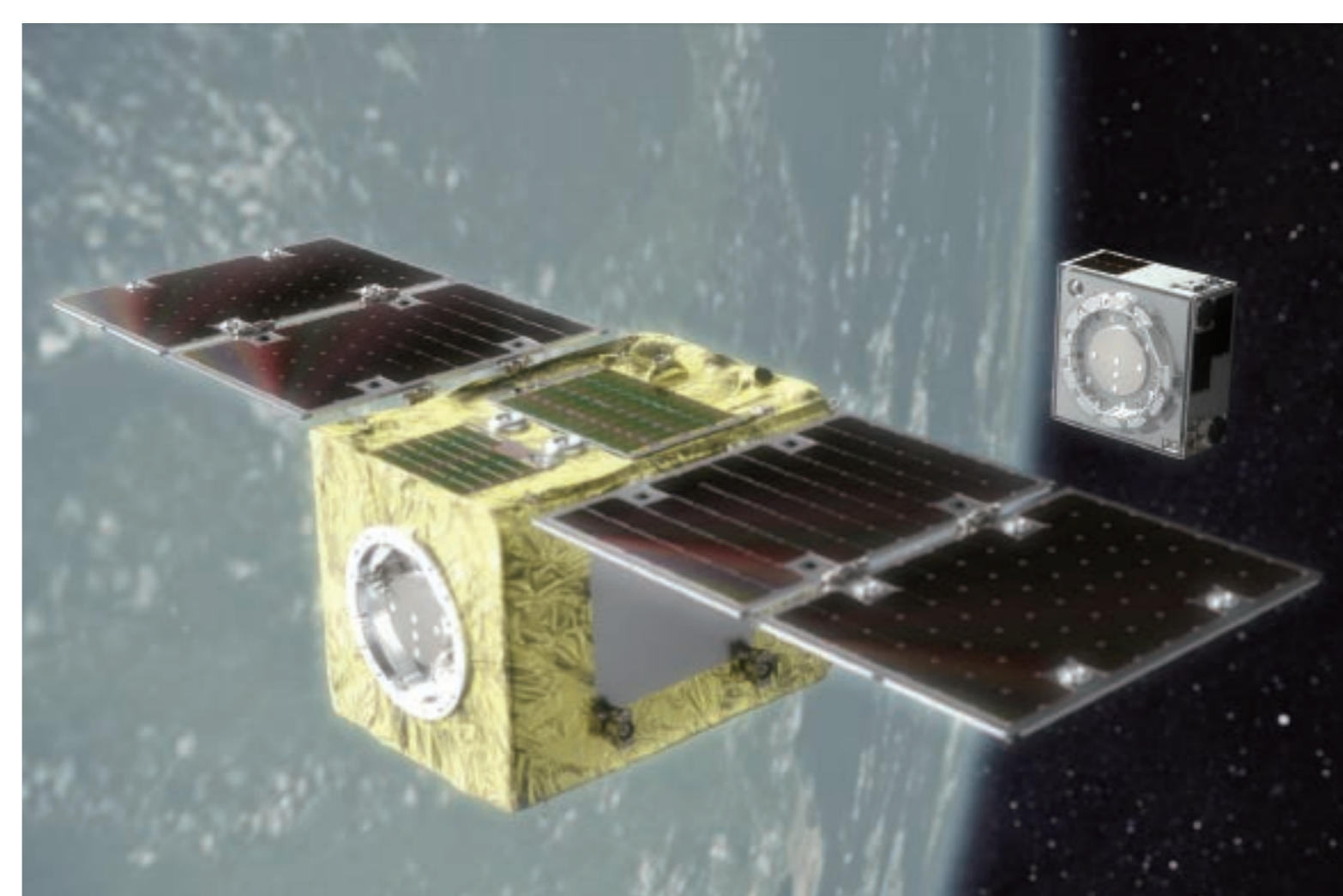
事業・サービスの強み

世界初! 宇宙の軌道上でデブリ除去の実証実験

2020年世界に先駆け、デブリ除去実証衛星「ELSA-d(エルサディー)」を打ち上げる。宇宙軌道上で、デブリへ接近・診断・回転を合わせた捕獲・軌道離脱を一連のミッションとして行う事は世界でも例がない。民間企業が一社数百～千機単位で人工衛星を打ち上げる「コンステレーション」の台頭により加速的にデブリが発生すると言われる。当社EOLサービスにより、宇宙の持続可能性に寄与したいと考えている。



▲事業ミッションをあらわす絵



▲2020年打上げのELSA-d衛星